

	七松小学校 学校だより	令和5年度 11月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子
---	------------------------	--



☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

おかげさまで



10月21日の体育大会は、人数制限のない体育大会でした。たくさんの方々に子どもたちのがんばりをご覧いただけたのではないかと自負しております。この体育大会で得た自信をこれからの学校生活に生かしてもらえればと思っています。現に、体育大会後、今までに増して、がんばりを見せてくれている子どもたちがたくさんいます。期待しています。

さて、ラグビーのワールドカップが終わりました。日本代表はがんばりました。グループステージで敗退はしましたが、大きな相手に真正面からぶつかって戦い抜く姿は、私たちにがんばる力をもらえたと思っています。ですが、それだけではありません。ラグビーワールドカップでは、たくさんのことを学びました。試合が終われば、敵も味方もなく、友好な関係を保つ「NOSIDE」の精神。「一人はみんなのために みんなは一人のために」「ONE TEAM」という言葉もよく聞きました。私は、現代社会において、「俺が、俺が。私が、私が。」という自己中心的な考え方が横行しているように感じる人が多いです。そのような中で、私たちが忘れかけていた「共生」の精神の心地よさを感じさせてくれました。ですから、多くの人が共感したのではないのでしょうか。そして、選手たちは、自分たちが勝てたのは、自分一人の手柄ではなく、みんなががんばったからとか応援が力になったとかの言葉をよく言っていたように思います。

私には、「おかげさまで」といっているように思いました。

「おかげさま」という言葉は、何とも奥ゆかしく謙虚な言葉です。「自分一人では成しえなかったけれど、みんなの協力や応援があったから、うまくいきました。」という意味であると私は解釈しています。当たり前と思えることに感謝し、自分の役割を精一杯行っていく心が「おかげさま」の心であると思っています。常に奥ゆかしく謙虚に毎日の生活を送っていききたいものです。

今月は、図工展があります。【想いをひろげて】というテーマで、想像したこと、考えたこと、工夫したことを力いっぱい表現した作品ができました。また、23日(木)は、オープンスクールでもあります。今年度の図工展は、体育館で行うのではなく、学年ごとに、特別教室等を使って行います。作品や授業の様子をゆっくりとご覧ください。そして、子どもたちの作品について、そして、学校での様子について、励ましの言葉をかけていただければと思います。